

大阪 先週から大半値下げで弱含みの展開

数社見合わせも需要は減退基調

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は弱含み。9日から中山鋼業が一律500円、12日からは岸和田製鋼と日鉄住金スチールがそれぞれ鋼グライ粉除き500円の値下げを実施。複数で慎重様子見が残りつつも、8~12日にかけて大半が買値引き下げに踏み切るなかで、今月は低生産が見込まれるなど、需給環境の悪化や実勢も下値寄りへ向かっているため、今回の価格対応を見送っているところを中心に下げ余力を抱えたまま週替わりを迎えている。同地区電炉のH2実勢値は1万5,000~1万5,500円(一部上値1万6,000円)、新断バラ同1万6,500~1万7,300円、鋼グライ粉同1万1,500~1万2,500円見当で推移。

今月8~12日にかけて、8社中5社が500円の値下げに

クボタ、可鍛コロ価格を500円値下げ

(大阪) クボタは1月9日からの可鍛コロ購入価格を検討した結果、500円値下げすることを決めた。同社の可鍛コロ価格はトン当たり1万9,700円へ下落した。

■栗本鉄工所は9日からHS1をトン当たり500円値下げした。HS1建値は1万4,400円となった。

踏み切り、昨年末からを含めれば、早いところすでに2度の下げ改定を実施しており、電炉間の引き合いは鈍化傾向にあるようだ。電炉間の下げ対応の異なりを受け、値下げを見送っているところでは先週末に入荷押し上げが伝えられるなど、各社、在庫レベルの高いなかで、先週後半から荷動きが回復し、さらには今月生産も24万トンの後半と低い水準にあるため、「製品環境が良いわけではなく、先行メーカーに合わせての下げ一巡は時間の問題」(ヤード業者筋)との見方を強めている。

一方、本来であれば、8日からの東京製鉄・全拠点の買値引き下げや為替円高を受け、輸出に不利な状況にありつつも、国内市況反発を受け、韓国ミルが日本玉の輸入商談再開に乗り出しているほか、台湾ミルもコンテナオファーの減少に伴って、先週末に日本玉の調達を行った動きも伝えられる。また、米国HMSNO1コンジット価格も前月比13.33ドル高の163.50ドルへ上伸したほか、トルコもコンスタントに欧米玉の調達をつづけているため、「海外環境はそこまで悪化しておらず、当初想定していたような下げ幅には至りくい」(商社)と見る向きもある。

(株)山原商会(山口県)、油圧ショベルを更新

(山口) (株)山原商会(山口県宇部市:山原一紀社長)は12月28日に最新型油圧ショベルを更新・導入した。同機は日立建機製の油圧ショベル240LCでグラップル仕様(サイズ0.9)。足回りを大きくすることで耐久性と安定性が増し、また広い作業範囲で作業効率も向上された。

同社は昭和24年4月、山口県宇部市において個人商店として創業し、昭和42年1月に株式会社へ改組した。平成23年2月本社に新社屋を竣工、門型放射線検知器を設置。平成27年5月27日に油圧シャーを更新、

本社ヤードのレイアウトを大きくリニューアルして作業効率と加工処理を飛躍的にアップさせた。重機は8台所有し、金属スクラップの月間取扱数量約5,000トン(代納含む)を誇る宇部市の最有力ヤードディーラーである。

ホームページ <http://www.yamahara.jp/>



製鋼原料 ギロチンシャー プレス加工

- ◎ギロチン材、鋼グライ粉
- ◎新断くず
- ◎ステンレス、その他非鉄全般

高価大量買付け



三浦金属株式会社

本社 大阪市西淀川区佃4-3-12
TEL 06 (6471) 1038 (代)
FAX 06 (6471) 2559

4段階(寸動・1サイクル・連続・差運動)の動きをもつ

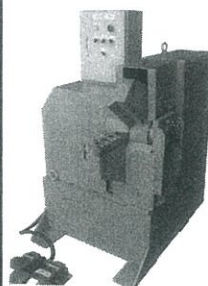
小型マルチアリゲーターシャー

MAC-240型

- 電線・ラジエーター・廃タイヤ・ジュウタン・綿糸の切断
- バルブ複合材料や異形部品の分解・整理

主仕様

油圧 20トン 2.2kW 4P
最大刃開き 150%
ストローク 10~15/分
切断能力 SS材20t×50%



↑足踏みペダル

ナゲット・リサイクル機の専門メーカー

大阪カイショウ株式会社

〒550-0022 大阪市西区本町2丁目3番24号
TEL.06(6582)3459 FAX.06(6582)3520
<http://www.osaka-kaisho.co.jp/>